

製品名: ニューロピリン 2 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab00554

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 105 kDa; Observed MW: 100 kDa

抗原情報

遺伝子名	NRP2
別名	NRP2; VEGF165R2; Neuropilin-2; Vascular endothelial cell growth factor 165 receptor 2
遺伝子 ID	8828
SwissProt ID	O60462
免疫原	抗血清はヒト NRP2 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 791-840

背景

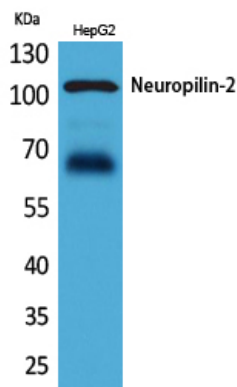
この遺伝子は、ニューロピリンファミリー受容体タンパク質のメンバーをコードしています。コードされている膜貫通タンパク質

は、SEMA3C タンパク質 (セマドメイン、免疫グロブリンドメイン (Ig)、短い塩基性ドメイン、分泌型、(セマフォリン) 3C) および SEMA3F タンパク質 (セマドメイン、免疫グロブリンドメイン (Ig)、短い塩基性ドメイン、分泌型、(セマフォリン) 3F) に結合し、血管内皮増殖因子 (VEGF) と相互作用します。このタンパク質は、心血管系の発達、軸索誘導、および腫瘍形成に関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが同定されています。

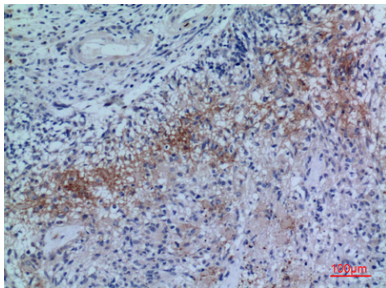
研究分野

神経科学

画像データ



ニューロピリン 2 抗体を使用した HepG2 溶解物中のニューロピリン 2 のウェスタンブロット分析。



ニューロピリン 2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。